

融合型教育科目概要

【フード・システム概論】

夏季休暇期間に2日の集中講義を行い、生産から消費に至る様々なステップと食品安全基本法など食に関する法令を理解し、これまでの食に関する事故・事件を通して食の安全・安心とは何かを考える。

また関西国際空港の植物防疫所見学を予定している。

【国際食料流通論】

夏季休業期間中に国際食料流通に関する集中講義(関西空港検疫所見学)と、国際食料流通演習(海外研修)の事前発表を行う。

【食料流通論】

食品流通企業やマーケティング学の専門家、近畿農政局の専門家を招き、春季休暇期間中に2日間の集中講義を行う。

【総合衛生管理学】

講義は春季集中講義で実施する予定であり、食品の加工・流通・販売の現場における食品の衛生管理手法(HACCPやISO等)および食品衛生関連法規の法的根拠について学習し、食の安全確保を総合的に進めるための法的概念およびその内容を理解する。

【食料生産実習】

夏季休業期間を利用して、神戸大学の附属農場にて2泊3日間の農場・牧場体験実習を行う。

【国際食料流通演習】

日本への輸入食品を生産する東南アジア・オセアニア地域の農場や企業などへ5～8日間程度の日程で訪問し、生産方法、品質管理方法について学習する。また、現地の大学など専門機関で関連する講義を受ける。

【食料流通安全評価実習】

春季休業期間を利用して、スーパーマーケットなど食品流通企業の品質検査部門への2日間の見学実習を実施する。

【総合衛生管理学実習】

春季休業期間を利用して2日間の見学実習を行う。食品の衛生・品質管理の実務講習および見学学習するために、食品衛生法に基づいて食品分析を実施している機関および国内法の下国際標準に準拠している食品工場の2カ所での実習を予定している。

食生産科学副専攻ホームページ

<http://www.gp.vet.osakafu-u.ac.jp/bioenv/>



食生産科学副専攻についての連絡先

担当教員：山口 夕先生 yu-yama@plant.osakafu-u.ac.jp

担当事務員：張(週3,4日上記HP イベントカレンダー参照) shokuno-gp@plant.osakafu-u.ac.jp

2018(平成30)年度入学生用 生命環境科学域

副専攻ガイド

「食生産科学副専攻」

食生産科学副専攻

食生産科学副専攻は、生命環境科学域の中で、獣医学類と応用生命科学類 植物バイオサイエンス課程が共同して提供する教育プログラムです。それぞれの学類・課程の教育内容に加えて、農産物と畜産物の生産現場から加工、流通、消費までの一連のプロセスを理解して、食の安全・安心の確保に貢献できる専門技術者の養成を目的とするものです。

詳細については、入学時等に行われるオリエンテーションに必ず参加して説明を受けてください。

- (1) この履修コースは、獣医学類と応用生命科学類 植物バイオサイエンス課程の学生が対象であり、20名(それぞれ10名ずつ)を上限として履修者を決定します。希望者は、獣医学類の学生は入学時に、応用生命科学類植物バイオサイエンス課程の学生は課程が決定されてから、申請して履修承認を受けてください。
 なお、本副専攻の修了者には、学士(獣医学)または、学士(応用生命科学)の学位と併せて、教授会の議を経て「修了証」が授与されます。
- (2) 食生産科学副専攻の修了証を受けるためには、獣医学類・応用生命科学類植物バイオサイエンス課程の各々の要卒単位を修得するとともに、表Ⅰ・Ⅱの科目を履修して単位を修得する必要があります。

注：本副専攻の履修と植物工場科学副専攻の履修を同時に行うことはできません。また、教育職員免許状取得のための履修との両立は困難です。
 また、海外演習に伴う費用の一部負担等が必要になります。

◎科目と単位数について

(1) 必修科目(9単位)

下表Ⅰ「融合型教育科目」が、この副専攻の必修科目ですが、卒業単位には含まれません(自由科目)。学類で、配当年次が異なっている科目がありますので、受講申請する時期に注意してください。

表Ⅰ

科目の種類等	科目名	単位数	配当学年 (獣:獣医学類 植:植物バイオサイエンス課程)						備考	取得すべき単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
融合型教育科目 (必修)	フード・システム概論	1	獣	植					集中★	9単位
	国際食料流通論	1		獣	植				集中★	
	食料流通論	1		獣植					集中★	
	総合衛生管理学	1			獣植				集中★	
	食料生産実習	1	獣	植					集中★	
	国際食料流通演習	2		獣	植				集中★	
	食料流通安全評価実習	1		獣植					集中★	
	総合衛生管理学実習	1			獣植				集中★	

(2) 選択科目(15単位以上)

下表Ⅱ「交流型教育科目」の一覧の中から、それぞれの区分A～Cで取得すべき単位数に示されている単位数をすべて修得してください。

表Ⅱ

科目の種類等	科目名	単位数	配当学年 (獣:獣医学類 植:植物バイオサイエンス課程)						備考	取得すべき単位数	
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
※1 交流型教育科目 (選択)	A	産業資源植物栽培学	2	獣		植				○	10単位以上
		LMO 管理学	2	獣		植				○	
		園芸生産学	2	獣		植				○☆	
		獣医生理学A	2		獣						
		毒性学A ※2	2			獣植				●	
		獣医公衆衛生学※2	2			獣植				●	
	基礎動物生理学 ※2	2		植							
	B	食品化学	2			植		獣		○●☆	2単位以上
		栄養生化学	2			植		獣		○●☆	
		食品製造学	2			植		獣		○●☆	
		食品保蔵・添加物論	2	獣		植				○	
	C	植物バイオサイエンスフィールド実習A	2	獣	植					☆	3単位以上
毒性学基礎実習		1			植				集中★		
毒性学実習		2			獣						
食品衛生学基礎実習		1				植			集中★		

注意

- 備考欄に★の付いている科目は、自由科目のため、要卒単位に含めることができません。
- 備考欄に☆の付いている科目は、獣医学類の学生は、自由科目のため要卒単位に含めることができません。
- ※1「交流型教育科目」は卒業要件に含まれる科目(専門科目、自由選択枠等)もあるので、履修にあたっては、生命環境科学域の履修要項及び時間割を参照してください。
- ※2 応用生命科学類 植物バイオサイエンス課程の学生で、「毒性学A」および「獣医公衆衛生学」の履修を希望する者は、事前に「基礎動物生理学」を選択することが望まれます。

受講申請方法について(下記科目に該当しない科目・学生はWEBで受講申請してください。)

- 備考欄に○の付いている科目は、獣医学類の学生はWEBではなく、生命環境科学支援室にて特別様式(紙申請)、または shokuno-gp@plant.osakafu-u.ac.jp 宛に電子メールにて受講申請をしてください。
- 備考欄に●の付いている科目は、植物バイオサイエンス課程の学生はWEBではなく、生命環境科学支援室にて特別様式(紙申請)、または shokuno-gp@plant.osakafu-u.ac.jp 宛に電子メールにて受講申請をしてください。